

PRO-XD

2.4GHz デジタル ワイヤレス マイクロホン システム

取扱説明書

この度はアズデンの製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読み下さい。

お読みになった後は、後日お役に立つことも有りますので、大切に保管して下さい。



 AZDEN *i-COUSTICS*®


安全上のご注意

必ずお守りください


お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。


 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

 **危険** この表示の欄は「違法行為となる」内容です。

 **注意** この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。


■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

 この様な絵表示は、気をつけて頂きたい「注意喚起」内容です。

 この様な絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 この様な絵表示は、必ず実行して頂きたく「強制」内容です。

警告

 分解・改造はしないで下さい。
・機器が故障したり金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。
この商品を幼児、子供の手の届く範囲には放置しないで下さい。
強い衝撃を与えないで下さい。
水をかけないで下さい。
異物（燃えやすいもの、金属、液体）を入れないで下さい。
・感電、やけど、故障、火災の原因になります。
以下の場所で使用、放置、保管しないで下さい。
・炎天下の車内
・ストーブなどの熱源の近く。
・直射日光の当たる場所、高温多湿の場所
異常に気付いたら使用しないで下さい。
・異常な音、煙、臭いや発熱、損傷などがありましたら、すぐに使用をやめ、お買い上げの販売店に当社に修理を依頼して下さい。

警告



医療機関、医療機器の近くでは本製品を使用しないで下さい。
本製品を航空機内で使用しないで下さい。
本製品を自動ドアや火災警報装置などの自動制御機器の近くで使用しないで下さい。
・電波の影響によって機器の誤動作が発生し、事故の原因になる可能性があります。
付属のケーブル以外で充電しないで下さい。

注意




異常に温度が高くなる所に置かないで下さい。
・機器表面や部品が劣化するほか故障の原因になることがあります。
・ストーブなど暖房器具の近くに置かないで下さい。
雨や水滴などがかかる場所に設置、保管しないで下さい。
・機器表面や部品が劣化するほか故障の原因になることがあります。
・水や異物が入ると火災や感電の原因になります。

2.4GHz 機器について

本製品は 2.4GHz の周波数帯域を使用します。この周波数帯域を使用するほかの機器との電波干渉を避けるために、下記事項をお読みの上、ご使用ください。

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家庭用電気機器・IT・産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許が必要）、特定小電力無線局（免許が不要）、およびアマチュア無線局（免許が必要）が運用されています。

1. ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、およびアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかにトランスミッターの電源を切ってください。そのうえでお客様相談窓口（→裏表紙）にご連絡いただき、混信回避のための処置（例えばパーティションの設置など）についてご相談ください。
3. そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合や、ご不明な点がございましたら、当社お客様相談窓口（→裏表紙）までお問い合わせください。

- 本製品は日本国内でのみご使用いただけます。
- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として工事設計認証を受けております。無線局の免許は必要ありません。
- 以下の行為は、法律で禁じられています。
 - 分解や改造を行う
 - 本体に貼付の工事設計認証ラベル（マークを含むラベル）をはがす

2.4 FH8

この製品（無線局）は 2.4GHz 帯を使用し、変調方式として FH-SS 方式を採用し、干渉距離は 80m 以内です。
本製品は日本の電波法の技術基準に適合しています。
海外には個別の電波法があります。ご注意ください。

使用上の注意

- ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 本製品の近くに発信機（携帯電話など）があるとノイズが入る場合がありますので離してご使用ください。
- 汚れたときは電源プラグを抜いてから、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

本体について

- ほかの機器との影響
Bluetooth 搭載機器、無線 LAN・Wi-Fi を使用する機器、デジタルコードレス電話、電子レンジなど、本製品と同じ 2.4GHz 帯の電波を使用する機器の影響によって音声が入りやすくなります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性があります。そのため、干渉し合う機器同士は離して設置してください。
- 使用可能範囲
トランスミッターから約 30m の範囲でご使用いただけますが、トランスミッターとレシーバーの間に障害物がある場合や建物の構造などによっては使用可能な距離が短くなる場合があります。

主な特徴

アツデン i-Coustics PRO-XD デジタルワイヤレスマイクロホンシステムをご購入いただき、誠にありがとうございます。
PRO-XD はアマチュア・セミプロの映像制作者向けに、ハイクオリティーかつお求めやすいワイヤレスシステムとして供給できるよう設計されました。

PRO-XD は、2.4GHz デジタルのワイヤレステクノロジーを使うアツデンのワイヤレスのシステムであり、音質を大きく改善し、ラジオやテレビの周波数の干渉を排除しました。DSLR カメラ、ビデオカメラ、スマートフォン、タブレット、およびパソコンで使い、多用途のワイヤレスマイクロホンであり、コンパクトでシンプルなデザインは、非常に使いやすいものとなっています。

PRO-XD は、ポディーバックトランスミッター（PRO-XDT）、シューマウント付属のレシーバー（PRO-XDR）、ラベリアマイク（EX-503XD）、オーディオ出力ケーブル、4 極プラグ変換アダプター（HX-i）、USB 充電ケーブルが付属されています。

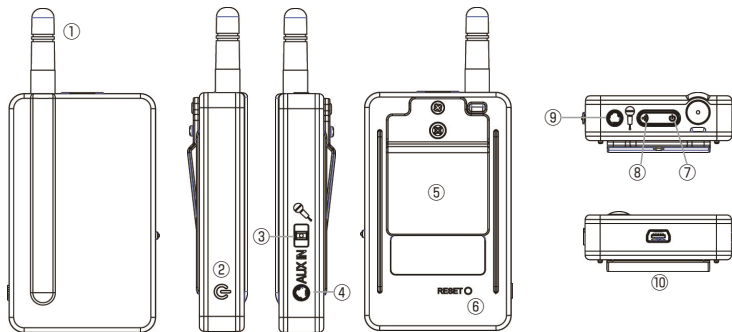
梱包内容 (本体 / 付属品)

① PRO-XDT	1	台
② PRO-XDR	1	台
③ EX-503XD (ラベリアマイク)	1	個
④ 4 極プラグ変換アダプター (HX-i)	1	本
⑤ AC アダプター	1	個
⑥ mini-USB - USB-A 接続ケーブル	1	本
⑦ オーディオ出力ケーブル	1	本



各部名称 (PRO-XDT トランスミッター)

- ① アンテナ
- ② 電源 (同期モード) ボタン
- ③ 入力セレクトター
- ④ 外部 AUX 入力
- ⑤ ベルトクリップ
- ⑥ リセットボタン
- ⑦ パワーインジケーター
- ⑧ シグナルインジケーター
- ⑨ マイク入力
- ⑩ Mini USB 充電ポート



使用方法 (PRO-XDT トランスミッター)

電源スイッチを入れる / 切る

PRO-XDT の電源ボタン②を 1 秒ほど押し続けてください。充電が十分にされていればパワーインジケーター⑦は緑色に点灯します。バッテリー残量が少なくなるとは赤になります。電源を切るときはパワーインジケーターの表示が消えるまで、電源ボタン②を 3 秒ほど押し続けてください。

シグナルインジケーター

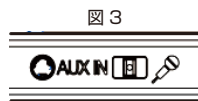
トランスミッターのインジケーター⑧には、2 種類のモードがあります。緑のランプが点灯している時、トランスミッターは電波を送信しています。緑のランプが点滅している時は、トランスミッターは同期モードにあり、コネクションを確立しようとしています。詳しくは 4 ページに記載されているペアリングの説明を参照してください。

入力セレクトター

入力セレクトター③でオーディオ入カソースを選んで下さい。このスイッチは 3 つの設定があります。スイッチをマイクロホンのアイコンに動かすと、マイク入力⑨を使うことができます。(図 1)

スイッチを“AUX IN”に動かすと、④の外部 AUX 入力を使用可能です。(図 2)

スイッチを真ん中に設定すると、両方同時に使うことができます。(図 3)



マイク入力、外部 AUX 入力

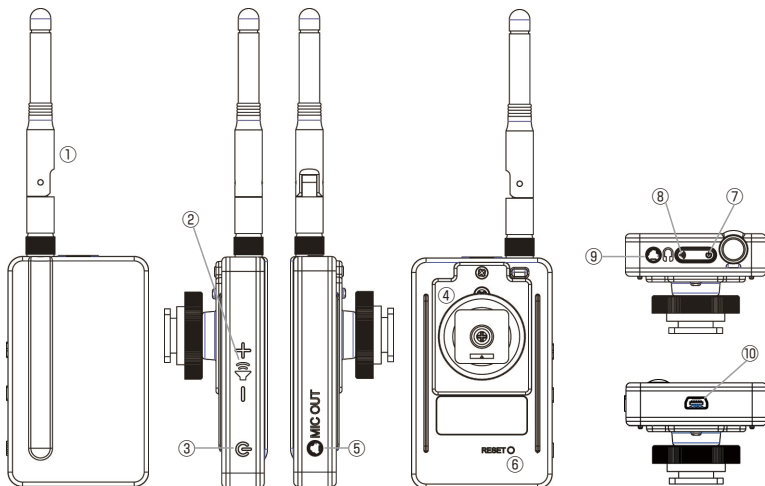
PRO-XDT は、二つのオーディオ入力があります。マイク入力⑨は 4 極φ3.5mm ジャックです。本体上部に位置しており、モノラルのマイクレベルに対応しています。EX-503XD ラベリアマイクのプラグをこの入力に差し込んで下さい。外部 AUX 入力④は本体側面にあるφ3.5mm ステレオジャックであり、ステレオ信号(最大 -10dBV)に対応しています。スマートホンのヘッドホン出力やオーディオキターへの出力を送信する場合に、この入力を使用します。外部音源機器と接続するには、ケーブルやアダプター(本システムの付属品以外)が追加が必要になることがあります。

充電

トランスミッターを充電するには、付属の USB ケーブルと AC アダプターを使用してください。充電方法は、本体の底部にある Mini USB 充電ポート⑩に、USB ケーブルの Mini USB コネクタ側を差し、ケーブルの反対側を家庭用電源 AC100V に繋げた AC アダプターの USB ポートに差し込んでください。パソコンの USB ポートに接続しても充電が行えます。バッテリーが空の状態からの充電時間は、約 3.5 時間です。充電中のパワーインジケーター⑦は赤になり、充電が終了するとランプが消えます。

各部名称 (PRO-XDR レシーバー)

- ① アンテナ
- ② ボリューム
- ③ 電源 (同期モード) ボタン
- ④ シューマウント
- ⑤ マイク出力
- ⑥ リセットボタン
- ⑦ パワーインジケータ
- ⑧ シグナルインジケータ
- ⑨ ヘッドホン出力
- ⑩ Mini USB 充電ポート



使用方法 (PRO-XDR レシーバー)

電源を入れる / 切る

PRO-XDRの電源ボタン③を1秒ほど押し続けてください。充電が十分にされていればパワーインジケータ⑦は緑色に点灯します。バッテリー残量が少いときは赤になります。

電源を切るときはパワーインジケータの表示が消えるまで、電源ボタン③を3秒ほど押し続けてください。

シグナルインジケータ

レシーバーがトランスミッターと接続されている時、シグナルインジケータ⑧は緑色に点灯します。緑のランプが点滅している時は、レシーバーは同期モードにあり、コネクションを確立しようとしているか、もしくは、トランスミッターが範囲外にあるかのいずれかを示しています。詳しくは4ページに記載されているペアリングの説明を参照してください。

ボリューム

ボリューム②で出力レベルを増減してください。ヘッドホンレベルはマイクレベルと連動しています。ボリューム②は10段階あります。レシーバーの初期のボリューム設定は4です。マイナス(-)ボタンを3回押すと、レシーバーは最少音量になります。プラス(+)ボタンを6回押すと、最大音量になります。

レシーバーの電源を切り、再び電源を入れると、常に初期のボリューム設定4に戻ります。

マイク出力

レシーバーのマイク出力⑤はΦ3.5mmステレオジャックで、マイクレベルでの出力になります。付属のオーディオ出力ケーブルを使用して、レシーバーをDSLRカメラまたはビデオカメラのマイク入力と接続して下さい。さらに、オーディオ出力ケーブルに4極プラグ変換アダプターを取り付ければ、レシーバーをスマートフォンまたはタブレットのヘッドセット入力に接続することができます。

ヘッドホン出力 (モニター用)

ヘッドホン出力⑨はΦ3.5mmステレオジャックで、ヘッドホンやイヤホン(付属していません)を接続し、オーディオをモニタリングするのに使用してください。

充電

レシーバーを充電するには、付属のUSBケーブルとACアダプターを使用してください。充電方法は、本体の底部にあるMini USB充電ポート⑩に、USBケーブルのMini USBコネクタ側を差し、ケーブルの反対側を家庭用電源AC100Vに繋げたACアダプターのUSBポートに差し込んでください。パソコンのUSBポートに接続しても充電が行えます。

バッテリーが空の状態からの充電時間は、約3時間です。充電中のパワーインジケータ⑦は赤になり、充電が終了するとランプが消えます。

ラベリア マイク

EX-503XD

PRO-XD システムには、新開発のラベリアマイクが付属されています。ラベリアマイクは無指向性で、トランスミッターから電源を供給（プラグインパワー）されます。端子は 4 極（TRRS）のΦ3.5mm ミニプラグ。タイピンクリップ及びウィンドスクリーン付きです。

ラベリアマイクを使うためには、シンプルに PRO-XDT のマイク入力⑤に差し込んでください。ワイヤレス機器なしで使いたい場合は、モバイル端末のヘッドセット入力に直挿しすることもできます。マイクのクリップを口元から 15~20cm 離して装着すると最適な音声を集音できます。

*すべてのモバイル端末で利用できるかは保証できません。

他のアツデン製マイクあるいは市販のマイクも PRO-XD でご利用になれる場合があります。互換性を得るには 4 極プラグ変換アダプターが必要です。2 極のΦ3.5mm ミニプラグのマイクなら、付属の 4 極プラグ変換アダプター（HX-i）がご利用になります。



PRO-XDT と PRO-XDR のペアリング

PRO-XD システムのトランスミッターとレシーバーは工場ペアリングされているので、初回に、箱から出してそのままご利用できます。しかし、何らかの理由でもう一度手動でペアリングする必要がある場合は、充電が十分にされていることをご確認の上、次の手順に従って行ってください。

1. 初めに PRO-XDT の電源を切った状態で電源ボタンを 5 秒間ほど長押ししてください。トランスミッターが同期モードに入り、レシーバーとペアリングする準備ができると、シグナルインジケーターが緑色に素早く点滅します。
2. 次に PRO-XDR の電源を切った状態で電源ボタンを 5 秒間ほど長押ししてください。レシーバーが同期モードに入ると、シグナルインジケーターは緑色に素早く点滅します。クリアな周波数チャンネルを検索している間、両機ともシグナルインジケーターが素早く点滅し続けます。ペアリングが完了すると、両機ともシグナルインジケーターが緑色に点灯状態になります。
3. 複数のレシーバーを 1 つのトランスミッターとペアリングするには、すべてのレシーバーでステップ 2 を同時に行ってください。
4. 複数の PRO-XD システムを、個々にステップ 1、2 に基づき、ペアリングすると、最大 4 ペアが同じ場所で同時にご利用可能です。
5. 一旦、PRO-XDT と PRO-XDR がペアリングされれば、電源を切ってもペアリングは維持されます。電源を入れる度にペアリングする必要はありません。

- ※ 1. バッテリー残量が少ない場合、ペアリングができなくなります。いずれかの機器の LED が赤く点灯している時は、まず充電を行ってください。
- ※ 2. 同期モードは約 12 秒ほど続きます。この時間内にペアリングが正常に完了しなかった場合は、もう一度同期モードを始める必要があります。
- ※ 3. 複数のシステムを運用する最適な条件は、Wi-Fi の電波がほとんど、あるいは、まったくないか、付近に 2.4GHz のデバイスが存在しない環境です。

カメラと接続

DSLR カメラに簡単に取り付けられる様に、PRO-XDR は標準的なシューマウントを装備しています。カメラのマウント部にシューマウントをスライドさせ、レシーバーをマウントしてください。レシーバーをマウントに固定するために、ねじを締めてください。

レシーバーのマイク出力をカメラのΦ3.5mm マイク入力（多くのカメラに標準装備）に接続させるためのオーディオ出力ケーブルが付属されています。一旦接続されれば、ほとんどのカメラは外部マイクが使われていることを自動的に検知します。しかし、オーディオの入カソースを手動で選択しなければならないカメラもあります。カメラのマニュアルを参照して下さい。

PRO-XDR のマイク出力を、XLR 3 ピンのマイク入力に接続させたい場合は、アツデンの ASP-18901 (MX-2) が使用できます（別売り）。詳しくは、アツデン、もしくは、販売店にお問い合わせください。



録音レベルの合わせ方

カメラ側でマイクの入力レベルを設定できる場合、一般的に、カメラの入力レベルを低く設定し、レシーバーの出力レベルを高くするのが好ましいとされています。カメラのプリアンプは品質の低いものがあり、ゲインを高くするとレコーディング時にノイズがのる傾向にあるためです。PRO-XD のオーディオ出力は高レベルのオーディオ信号を提供できるように設計されているので、カメラのマイク入力のゲインを高くさせずに済みます。

録音レベルを最適にするために、下記のステップに従って操作してください。

- 1、トランスミッターの電源を入れ、マイクを接続して下さい。
- 2、レシーバーの電源を入れ、トランスミッターとペアリングされているか確かめてください。ボリュームのプラス (+) ボタンを 6 回押して出力レベルを最大にしてください。
- 3、カメラ側で、マイク入力レベルの設定を行ってください。マイクにテストレベルの音声を入力し、オーディオメーターでレベルをモニターして、オーディオのピークが最大出力レベルを少し下回る様に設定してください (歪みを回避するため)。カメラのオーディオをヘッドホンでモニターできるならば、歪みがないことを聴いて確認してください。
- 4、もしカメラのマイクゲインを最小にしても、まだ歪みが出ているのであれば、歪まなくなるまでレシーバーのボリュームのマイナス (-) ボタンを押して下さい。

接続の仕方 (スマートホン他)

i-Coustics はアツデンのブランドであり、スマートホンやタブレットと互換のあるオーディオ製品で構成されます。PRO-XD もその 1 つです。PRO-XD システムには、オーディオ出力ケーブルをモバイル端末のヘッドセット入力に接続させるための 4 極プラグ変換アダプター (HX-i) が付属されています。このアダプターは、iPhone や iPad の現行モデル、Samsung の Galaxy やその他の多くの人気の Android のスマートホンやタブレットと互換性があります。アツデン i-Coustics の互換性の詳細については、web をご覧ください。 www.azden.com/i-coustics。

モバイル端末との接続方法

- 1、HX-i ケーブルのプラグをモバイル端末を接続してください。端末をケースに入れてると完全に接続できないことがあります。その場合はケースを外してください。
- 2、付属のオーディオ出力ケーブルのプラグを HX-i ケーブルのジャックに差し込んでください。
- 3、オーディオ出力ケーブルの反対側のプラグを PRO-XDR のマイク出力に差し込んでください。

これで完了です。iOS と Android で入手できる録音アプリを使って、PRO-XD からのオーディオを録音することができます。ほとんどのアプリでご使用可能ですが、アプリとの互換性を保証することはできません。

接続の仕方 (パソコン他)

パソコンにある外部マイク接続用のマイク入力端子には、いくつかのタイプがあります。

1 つは、スマートホンやタブレットと同様にヘッドセット入力を利用するタイプです (スピーカー出力とマイク入力と一緒にになった 4 極の Φ 3.5mm ジャック)。このようなパソコンには、PRO-XDR はスマートホンやタブレットと同じ方法でパソコンに接続できません。

その他には、DSLR カメラによくあるような、専用の Φ 3.5mm マイク入力となるタイプがあります。このようなパソコンとの接続は、DSLR カメラと同様に行います (4 ページに記載されています)。どのタイプのマイク入力端子かは、パソコンのマニュアルを参照してください。

外部マイクを利用する際、場合によっては、パソコンの OS のオーディオ設定を手動で変えたり、お使いの録音ソフトのサウンド設定に変更を加えたりすることが必要になります。外部マイクを正しい設定で使用するために、パソコンのオーディオ設定マニュアルやソフトのマニュアルを参照して下さい。

マイク入力、外部 AUX 入力

PRO-XDT の特徴の 1 つは、ステレオのφ3.5mm 外部 AUX 入力を持っていることです。レベルが -10dBV までの外部機器からのステレオ信号を入力できます。マイクを接続しても正常に機能しません (マイクを利用する場合は、トランスミッターのマイク入力に接続してください)。外部 AUX 入力を使用する際には、入力セレクターを "AUX IN" に合わせるか、もしくは、マイクと一緒に使用する場合はセンターの位置に合わせてください。

この外部 AUX 入力により、外部機器からのステレオ信号を、レシーバーにワイヤレスで伝送することができます。レシーバーもこの信号をマイク出力からステレオで出力します (ステレオのオーディオ出力ケーブルを使用した場合)。ステレオで録音するには、録音機器もステレオに対応している必要があります (モバイル端末では 4 極のヘッドセット入力を接続するのモノラル録音のみになります)。

この外部 AUX 入力には様々な可能性があります。マルチチャンネルのミキサーの出力を接続するような使い方をすれば、2 つ以上のマイクをステレオでミキシングしてワイヤレスでレシーバーに送ることも可能になります。

内部電池とその充電方法について

PRO-XDT と PRO-XDR は、リチウムイオンバッテリーを内蔵しています。本体の底にある Mini USB ポートで、充電することが可能です。充電には付属の USB ケーブルと AC アダプターを使用してください。付属品と同等の市販品 (USB ケーブルや AC アダプター)、もしくはパソコンの標準的な USB ポートでも充電は可能ですが、仕様をご確認の上、ご使用ください。どちらの機器もフル充電まで、約 3~3.5 時間かかります。フル充電からの連続稼働時間は、トランスミッターは約 11 時間、レシーバーは約 16 時間になります。また、充電しながらの使用も可能です。



機器を使用した後は必ずスイッチを切る。
液もれの多くは、スイッチの切り忘れによる電池の消耗です。
バッテリーは、正常に使用した場合でも劣化する消耗部品です。バッテリーの消耗は、特性であり故障ではありません。
保証期間内においても内蔵バッテリーは有償修理となります。
本製品を使用せず、長期間保管していた場合、バッテリー性能は低下します。何回か充放電を繰り返すと回復します。
周囲温度が低い環境では、継続時間が短くなります。リチウムポリマー充電電池はリサイクル可能な資源です。
リサイクルのご協力いただける場合は、本製品を下記宛までお送り下さい。
なお、電池を取り出した後の本製品は返却しかねますので、予めご了承下さい。

送り先 〒181-8533

東京都三鷹市上連雀 1-12-17

アツデン株式会社 二次電池回収担当 宛て

リセットボタン

トランスミッターとレシーバーの両方に、凹みのあるリセットボタンが背面にあります。リセットボタンは、本体の反応がない場合、電源ボタンの代わりに電源をオフにする機能があります。リセットボタンは電源がオンの時のみ有効です。リセットボタンは、クリップのような先端が硬く、細いのもで押ししてください。1 秒押しで離すとリセットが実行され、電源がオフします。その後、電源を入れ直してご使用ください。

操作に役立つ情報について

1. PRO-XD をご使用になる際には、初めに両機ともフル充電されているかをご確認ください。
2. 可能な限り、トランスミッターとレシーバーの間に遮蔽物がないようにしてください。見通しの良い場所が最適です。
3. 人体には 2.4GHz 周波数の電波を吸収する性質があります。トランスミッターとレシーバーをどのように設置するかは、このことを考慮に入れてください。例えば、トランスミッターを人の背後に付けたり、後ろのポケット入れたりすると、システムの有効な範囲が狭くなる場合があります。
4. PRO-XD をカメラと使うとき、過入力にならない範囲で高レベルのオーディオ信号を得るために、レシーバーのボリュームレベルを最大に合わせ、カメラのゲインを上げてください。ゲインをさらに下げる必要がある場合は、レベルが最適になるまでレシーバーのボリュームを上げてください。一般的に、カメラのプリアンプをできるだけ小さいレベルで使うことが望ましいです。
5. PRO-XD システムは、最適条件下では 35 メートル以上の動作が可能です。但し、長距離での使用は、Wi-Fi 環境、及び見通しの良さに大きく依存します。
6. 新しい場所で PRO-XD システムをご使用になる際には、必ず撮影前に数分間使用できるかテストを行ってください。
7. Wi-Fi が数多く運用されている環境では、PRO-XD が接続に使うクリアなチャンネルを見つけにくくなります。また、Wi-Fi が多いなど電波環境が良くないエリアでは、その場所で同時に運用できる PRO-XD システムの数が制限されることがあります。ご使用になる場所を選定する際に、この点を必ず確認してください。運用が難しくなる場所があることは、ご了承願います。
8. 接続の問題が発生した場合、可能であれば、エリア内の不要な 2.4GHz ワイヤレス機器全ての電源を切ってください。ルーター・ホットスポット・Bluetooth 機器・パソコン・携帯電話 (機内モードにする) などを含まず。

仕 様

PRO-XD

送受信帯域	: 2.4GHz ISM Band
ダイナミックレンジ	: 90dB
SN比	: 80dB
受信距離	: 35m(見通し標準距離)
周波数特性	: 20Hz - 20kHz, ± 1 dB
オーディオサンプリング	: 48kHz/16bit
システムレイテンシー	: 14ms
電池充電回数	: 300 回
充電電池タイプ	: リチウムイオン
充電端子	: Mini USB
付属品	オーディオ出力ケーブル、 4 極プラグ変換アダプター (HX-i)、 USB-mini - USB-A ケーブル、 AC アダプター

TRANSMITTER (PRO-XDT)

送信出力	: 10mW
マイク入力	: $\Phi 3.5$ mm 4 極モノラル (プラグインパワー)
入カインピーダンス	: 2.2k Ω
外部 AUX 入力	: $\Phi 3.5$ mm ステレオ
入カインピーダンス	: 10k Ω
最大入力レベル	: -10dBV
電池寿命	: 11 時間
充電時間	: 3 時間 30 分
外形寸法	: 48x79x14mm (W/H/D)
質量	: 62g

RECEIVER (PRO-XDR)

最大オーディオ出力レベル	: -14dBV
マイク出力	: $\Phi 3.5$ mm デュアルモノ / ステレオ
ヘッドホン出力	: $\Phi 3.5$ mm ステレオ
出カインピーダンス	: マイク : 600 Ω ヘッドホン : 16 Ω
電池寿命	: 16 時間
充電時間	: 3~3.5 時間
外形寸法	: 48x79x14mm (W/H/D)
質量	: 68g

MICROPHONE (EX-503XD)

型式	: エレクトレット コンデンサー
指向性	: 無指向性
周波数特性	: 30Hz - 20kHz
感度	: -46dB at 1kHz (OdB=1V/Pa)
インピーダンス	: 2.2k Ω (at 1kHz)
電源	: プラグインパワー DC 1-10V
コネクタ	: $\Phi 3.5$ mm 4 極プラグ
コード長	: 105cm

保 証 書

本書は下記の保証規定により、無料修理を行なう事をお約束するものです

機種名		PRO-XD	
お客様	ご住所	〒 _____ ☎ _____	
		e-mail _____	
	お名前	_____	
保証期間		一 年	
取扱販売店	住所	_____	
	店名	_____	
お買い上げ日		年	月 日

保証規定

保証期間内に、正常な使用状態において万一故障した場合には無料で修理致します。

次のような場合には保証期間内でも有料修理になります。

- ① 水害、落雷、異常電圧その他天災地変による故障
- ② お買い上げ後の輸送、落下等による事故および損傷
- ③ 本保証書のご提示がない場合

④ 本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合は、修理をお引き受けできません。

不当な修理および改造をした場合は、修理をお引き受けできません。

修理品の送料に関しては、本保証に含まれておりませんので予めご了承下さい。

アジデン 株式会社

<http://www.azden.co.jp>

e-mail:sales@azden.co.jp

〒181-8533 東京都三鷹市上連雀 1 丁目 12 番 17 号
営業部 TEL 0422-55-5115 FAX 0422-55-0131

PRINTED IN JAPAN 060-35948C01